



● 2040独立自尊プロジェクト ●

プラットフォームと「2040年問題」 第1回研究会

対象：KGRI所員

※対象者以外の方が聴講を希望される場合には、メールにてご連絡ください

特別講演

『ダークパタン』の技術と倫理的課題

長谷川敦士先生（武蔵野美術大学・教授）

司会：山本龍彦（KGRI副所長、法務研究科・教授）

6月17日
(木)

14:00~16:00
(13:30分開場)

三田キャンパス
東館6階
G-Lab

「消費者を不利な決定に誘導する表記やサイト設計」のことをダークパタンと呼び、特定のボタンを目立たせる「誘導」などがその代表例です。ダークパタンは、欧米では法的・倫理的に問題視され、規制が進んでいます（例えば、米カリフォルニア州は、2021年3月、解約手続きなどにダークパタンを用いることを禁止しました）。

2021年、KGRIは新たに「2040独立自尊プロジェクト」を立ち上げました。そのうち本プロジェクト「プラットフォームと『2040年問題』」では、プラットフォームの法的・倫理的課題を検討します。ダークパタンは、プラットフォームの適切な発展を検証するにあたり避けておれない問題です。そこで本プロジェクトの第1回研究会では、日本のダークパタン研究の第一人者である長谷川敦士先生（武蔵野美術大学教授）をお招きし、日本における規律のあり方を検討します。

講師：長谷川敦士 先生（武蔵野美術大学・教授）

1973年山形県生まれ

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系博士課程修了（学術博士）

「理解のデザイン」を中心にして、デザインの社会活用、デザインアプローチの可能性を探索、デザインを通じた社会システムの構築を研究している。著書に『IA100—ユーザーエクスペリエンスデザインのための情報アーキテクチャ設計』、監訳書に『THIS IS SERVICE DESIGN THINKING』など多数。

事前申し込み：<https://forms.gle/ACGD16EG6AR8TK2g7>

お問合せ 慶應義塾大学グローバルサーチインスティテュート「2040独立自尊プロジェクト」事務局

☎ 03-5427-1358 ✉ <mailto:kgri-web@adst.keio.ac.jp>

